

品川上空を低空飛行する
羽田新ルートへの賛否を問う

区民投票を求める署名に
法定数3倍超の**23,098**筆!

区議会の賛同を経て区民投票へ 民意を確認する場を実現しよう!

法定署名の3倍を超える23,098名の方が、羽田新飛行ルート運用の賛否を問う条例制定を求めて署名しました。区民投票を実施するためには条例成立が不可避です。今後の条例審査は、品川区議会にゆだねられます。



12.9 区民投票条例制定をめざす大集会 市民主体の政治・行政へ 住民投票の意義を考える

●条例審査を前に、ゲストスピーカーをお招きし、「住民投票」の意義・役割などをお聴きします。多数のご参加をお待ちします。

2020年 **12月9日(水)** 18:00～20:00 (開場 17:30～)

きゅりあん7F イベントホール

JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線 大井町駅

参加費 500円 ※新型コロナウイルス感染症対策を施して実施します。

基調講演

新藤 宗幸さん 政治学者(行政学・地方自治論)

略歴: 千葉大学名誉教授。政治学者、専門は行政学・地方自治論。2014～18年 公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所理事長。地方分権に関して提言を行う分権型政策制度研究センター長や住民投票立法フォーラム共同代表などを務めた。近著に『新自由主義にゆがむ公共政策生活者のための政治とは何か』(朝日新聞出版)、ほか著書多数



セッション1

報告と提案

- ① 請求代表者、署名収集受任者、支援者から報告
- ② 区議会議員、都議会議員ほか関係各位からの発言(要請中)
- ③ 品川区民投票を成功させる会 今後の活動提案

セッション2

区民投票までの流れ

- ステップ1
- 法定数の3倍の23,098筆の署名を11月9日に提出。選挙管理委員会が20日以内に署名の有効無効の証明を終了後、11月30日～12月6日までの署名簿縦覧期間を経て有効署名数が確定します。
 - 品川区議会議員、および都議会議員、同候補予定者にアンケートを送付、回答を公開します。
- ステップ2
- 12月初旬を目途に、区長に「条例制定」を請求します。
 - 区長は、請求受理後、20日以内に議会を招集、12月下旬から1月上旬に議会(臨時会)が開会。議案審査を経て採決が行われます。
 - 審査時には、条例制定請求代表者による意見陳述の機会が保障されます。傍聴席を埋め尽くし、審査を見守りましょう。
- ※意見陳述では、条例制定趣旨説明のほか、先の議会において「新ルート計画を容認しない」と決議したように、全会派一致での採択を求めます。
- ステップ3
- 議案が採択され「条例が成立」すると、その後3カ月以内に「区民投票」が実施されます(2021年3月中の実施が見込まれます)。

主催 羽田新飛行ルートへの賛否を問う品川区民投票を成功させる会

電話 03-3785-3636 FAX 03-5751-7106

Email shinagawatohyo@gmail.com <https://shinagawatohyo.jimdofree.com>





区民投票を成功させる家

区民の声を聴かないまま 進められる“航空政策”

今年4月以来、頭上を通過する大型旅客機を実際に目にした人は、連続する轟音に耳を塞ぎ、ストレスで体調を壊す人が出ています。氷塊や部品が落ちたらと不安を募らせている人がいます。そして、この品川上空の飛行ルートはいつ決まったのかと決定を疑問視する人もいます。

また、昨年3月には品川区議会は『この計画は容認できない』と全会派一致で決議しました。

他方、日本が海外の観光客を招き入れて、観光立国として経済を上向きにする政策は必要なことと国土交通省の説明に理解を示す人もいます。

品川区民の中には、飛行ルートの運用に反対、賛成という人たちが混在しています。

羽田空港の運行状況

新型コロナウイルス感染症の影響で、羽田国際線は9割が運休。品川上空を通過している旅客機はほとんど国内線。国がめざす海外観光客を当て込む航空政策は、五輪延期とあいまって停滞しているのが現状です。

行政の対応

品川区は、騒音対策や固定化しないなど国交省に申し入れています。国交省は、「新飛行ルートは首都圏全体での騒音共有が必要」などと説明。

国は、区民の思いを充分受け止めていません。

新ルートで着陸後、普通はパイロットが操縦について何かいうことはほとんどないのに、同乗したキャビンクルーに「難しかった」と言った(航空会社関係者)

まちの音を頼りに歩く視覚障害者は、飛行機の騒音で、歩くのが怖いです(視覚障害者)

環境が良いので10年前に引っ越してきたが、まさかこんなことになるとは!(大崎駅近くの高層マンション在住者)

署名活動で聞かれた住民の声

家の屋上から見てみると、飛行機が近づいてくると降下角度を下げて、まるでうちに向かってくるようで怖い(立会川駅近くの居住者)

飛行機がうるさくて勉強ができない! 落ちることもあるんでしょ(大井町駅近くの小学5年生)

羽田がアジアのHUB空港となって日本の国際競争力を高めることが大事(大井町デッキで)

ご近所同士で「飛ぶようになって余りにもうるさくて困っている」と話している(東大井、高台の居住者)